

第 16 回応用生物科学科卒業生によるセミナー

12 月 1 日（月） 13 : 10～ 講義棟 K704

アメリカで研究室をたちあげて

シンシナティ大学小児病院助教授 行川賢先生

シンシナティ大学小児病院助教授 濱田文香先生

私達夫婦は、共に応用生物科学科坂口研究室で博士号を取得しました。その後、アメリカ、ボストンでの留学を経て、現在シンシナティ小児病院でそれぞれ独立して研究室を主宰しています。このセミナーでは、どのように私達がアカデミックなキャリアを築いてきたかをお話しし、理科大を卒業した後の基礎研究の研究者のキャリアパスがどのようなものであるかを紹介したいと思います。またアメリカ留学の意義と可能性、理科大生の潜在能力の高さについてお話ししたいと思います。アメリカにきてわかりましたが、理科大の卒業生は世界的に活躍しています！ついでに、私達の研究の最前線についてもご紹介します。行川研究室では、ほ乳動物の生殖細胞におけるエピジェネティック制御に着目しています。生命の永続生がどのようなメカニズムで担われているのか、マウスモデルを使った生物学の本質に迫る研究をご紹介します。濱田研究室では、私達がどのように温度を感知するか、また温度を感知することによって睡眠などの概日リズムがどのように制御されているかショウジョウバエをモデルとして研究しています。このセミナーを通じて皆さんのキャリアパスを応援できることを願っています。当日は、どんな質問でも大歓迎です。この機会に交流できることを楽しみにしています。是非皆さん、頑張ってください！

世話人：菅原